

2025年度事業計画書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

本年度も前年度に引き続き、定款第5条に定める公益目的事業の充実を図り、公益財団法人としての管理運営を徹底し、当財団に対する関係各層の一層の理解を深めるため、次の各事業を推進します。

1. 助成事業

【予算総額 28,950 千円】

(1) 研究助成金の交付

腸内フローラを中心としたバイオサイエンス分野で研究活動を行う研究者や研究機関に対して助成を行います。本年度は、萌芽的な視点に立った一般研究および中長期的な視点に立った特別研究に対して、総額 26,000 千円の研究助成を行います。

[予算 26,000 千円]

(2) 国際交流助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンス分野において、海外で開催される学会等で自己の研究成果を発表する国内在住研究者の参加費用（旅費・滞在費・参加費）または国内で開催する学会・シンポジウム等に海外研究者を招聘する費用（旅費・滞在費）に対し、地域に応じて1件 350 千円以内、総額 1,000 千円の助成を行います。

[予算 1,000 千円]

(3) 選考委員会

本事業に関する研究助成および国際交流助成の選考審査は、理事長の諮問に応じて選考委員会が行います。選考委員は、資料に掲げる委員に委嘱します。

[予算 1,950 千円]

2. 普及啓発事業

【予算総額 14,500 千円】

(1) 腸内フローラシンポジウム

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する普及啓発を目的として、「第33回腸内フローラシンポジウム」を以下の通り開催し、腸内フローラの意義について一層の解明と最先端の研究成果を広く国内外の研究者等に紹介します。

「第33回腸内フローラシンポジウム」概要

- ・テーマ：腸内フローラとニューロサイエンス
- ・開催日：2025年10月24日（金曜日）
- ・場所：ニューピアホール
- ・講師：海外講師2名、国内講師5名

[予算 12,500 千円]

(2) シンポジウム運営委員会、記録集の作成他

シンポジウム運営委員会は、理事長の諮問に応じて、「腸内フローラシンポジウム」のテーマ選定、講演講師の選定、および開催・運営・記録に関わる指導業務を行います。シンポジウム運営委員は、資料に掲げる委員に委嘱します。

[予算 2,000 千円]

3. 調査研究事業

【予算総額 200 千円】

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する基礎技術の進歩や生体の意義究明に関して、専門研究者および学識経験者を通じて文献や学会等の情報調査を行います。

4. 事業推進

【予算総額 8,460 千円】

前述の 1、2、3 の事業を適切に運営するため、事業推進費を設けて推進いたします。昨年に引き続き、インターネットを中心に当財団の事業紹介を積極的に行い、さらに情報提供および情報開示に努めます。

5. 管理業務

【予算総額 6,380 千円】

財団運営に係る管理業務については、理事会、監事監査、評議員会を開催・運営するとともに、その他の業務も適切に行います。また、公益財団法人としての行政庁への届出等の対応業務も適切に行います。

以 上